

平成25年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	技術開発支援事業(共同研究)	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	大学連携等による調査研究事業		事業区分	助成(応募型)	

1. 事業目的

公募型助成事業の一環として、北陸地域の社会資本整備に係る地域づくり、産業振興、建設技術等に関する課題解決に向けた技術開発・調査研究を行う研究グループ(産官学3つ以上の機関の研究者で構成)を支援する。

2. 事業実施体制

- ◆共同研究 1
「小水力と地中熱を活用した分散型農村エネルギー自給構想に関する研究」
構成機関: 富山国際大学、富山高等専門学校、富山大学
- ◆共同研究 2
「新・買い物弱者支援システム: オンデマンド商店街の可能性調査・研究」
構成機関: 石川工業高等専門学校、金沢大学、石川県立看護大学、津幡町商工会
- ◆共同研究 3
「雪国地域独自の津波および雪・地震複合災害の被害軽減策と復興モデルの提案」
構成機関: 金沢大学、福井工業高等専門学校、福井工業大学

3. 事業実施概要

- ◆共同研究 1 <継続>
富山県黒部扇状地を調査・研究フィールドに、農業用水路を活用した小水力発電により農業用軽トラック及び地中熱ヒートポンプへの利用に関し、電気軽トラ用バッテリー基地機能の検討、電気自動車の電力消費特性・改造技術調査、地中熱ヒートポンプ適応地下水調査・検討を行った。
- ◆共同研究 2 <新規>
石川県津幡町において、中山間地域を主とする買い物弱者、特に高齢者等を対象とした「オンデマンド商店街」と呼ばれる買い物支援システムの開発・実験・運用を行った。また、買い物ニーズ調査及び高齢者の生活支援に関する基礎調査も実施した。
- ◆共同研究 3 <新規>
石川県輪島市を主として、積雪地域で発生する地震がもたらす津波や屋根雪の崩落などの複合災害について、高齢化が進む地方の社会的背景を踏まえ、避難などの防災対策について調査・研究を行い、被害軽減策と復興モデルを提案する。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

近年問題視されている環境低負荷エネルギー活用、商店街と高齢買い物弱者対策、地震・津波・雪等の複合災害対策に関する3件の調査研究を実施した。いずれも「エネルギー問題」「高齢化・地域活性化」「災害対策」と話題になっているテーマについて、持続可能な社会システムの構築という観点から、地域に根付いた取り組みを目指し調査研究を実施している。各研究者の専門性を活かし、課題解決によって、地域の活性化が一層促進されると期待できる。



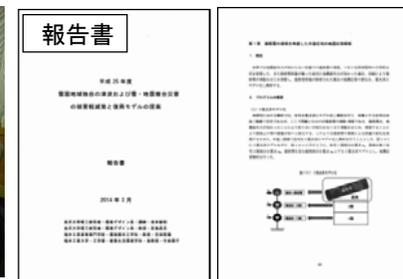
◆共同研究 1



◆共同研究 2



◆共同研究 3



* 報告書は当会のホームページで公開